

服部 五輪代表

選考レース2位

マラソン 十日町出身、25歳

2020年東京五輪の日本代表選考レース「マラソングランドチャンピオンシップ」(MGC)は15日、東京・明治神宮外苑発着で行われ、男子は中村匠吾(富士通)が2時間11分28秒で優勝、十日町市出身の服部勇馬(トヨタ自動車)が8秒差で2位となって代表に決まった。

女子は前田穂南(天満屋) 番とほぼ同じコースで男女の可能性がある。男子のが1位、鈴木亜由子(日本 各2枚の切符を争った。3 日本記録を持つ大迫傑(ナ郵政グループ)が2位に続 位でも、来春までの国内指 イキ)は3位だった。

き、代表入りした。五輪本 定大会の結果次第で代表入 日本陸上競技連盟は複数

の選考会の結果を比較して代表を選考してきたが、基準が曖昧で何度も騒動を引き起こした。地元開催の五輪に向けては誰もが納得できる形を目指し、一定の条件を満たした選手がMGCで競う、一発勝負に近い方式を初めて導入した。



「マラソングランドチャンピオンシップ」(MGC)の男子で2位に入り、2020年東京五輪の日本代表に決まった服部勇馬。15日、東京・明治神宮外苑

服部 勇馬 (はっとり・ゆうま) 1993年生まれ、十日町市出身。宮城・仙台育英高3年だった11年全国高校総体の5000mで5位。東洋大では15年から箱根駅伝「花の2区」で2年連続区間賞に輝いた。16年2月の東京でマラソンデビュー。同年春にトヨタ自動車に入社し、昨年12月の福岡国際で2時間7分27秒をマークし、日本人として14年ぶりの優勝を果たした。176センチ、63キロ。25歳。